令和3年度全国学力・学習状況調査の宇部市の結果について

1 調査概要

(1) 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

- (2) 調査期日 令和3年5月27日(木)
- (3) 学校数及び対象学年(人数)
 - ① 市立小学校: 24校 対象学年: 第6学年(1, 168名)
 - ② 市立中学校:12校 対象学年:第3学年(943名)
- (4) 調査内容
 - ① 教科に関する調査(国語、算数・数学)

小学校(国語、算数)

中学校(国語、数学)

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

ア 児童生徒に対する調査 【小学校:69項目 中学校:69項目】 イ 学校に対する調査 【小学校:91項目 中学校:91項目】

2 調査結果

(1)教科に関する結果

- ① 全体の結果
- 小学校の結果は、国語、算数で全国平均を下回っている。
- 中学校の結果は、国語は全国平均を下回り、数学は全国平均を上回っている。

小学校 平均正答率		国語	算数
R3	宇部市	60	67
	全国	64.7	70.2
	山口県	64	69

中学校 平均正答率		国語	数学
R3	宇部市	64	58
	全国	64.6	57.2
	山口県	65	58

※平成29年度から、都道府県等における各区分の平均正答率は整数値で提供

②教科ごとの結果

【小学校国語】

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域 すべてにおいて、全国平均正答率を下回った。

【小学校算数】

「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の領域すべてにおいて、全国平均正答率を下回った。

【中学校国語】

「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域で全国平均正答率を上回ったが、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域では全国平均正答率を下回った。

【中学校数学】

「数と式」「図形」「資料の活用」の領域では全国平均正答率を上回ったが、「関数」の領域では全国平均を下回った。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査について

望ましい状況	課題の見られる状況
【全国より高い】	【全国より低い】
○自分と違う意見について考えるのは楽しい	●平日及び土日1日あたりの勉強時間
と思う	●携帯電話・スマートフォンやコンピュータの
○友だちと協力するのは楽しいと思う。	使い方について家の人と約束したことを守
○学習した内容について、分かった点やよく分	っている。
からなかった点を見直し、次の学習につなげ	●コンピュータなどの ICT を使用した授業の頻
ることができた。	度。
○国語の勉強は大切だと思う。	●他の友達と意見交換したり、調べたりするの
○算数の問題の解き方が分からないときは、諦	に活用したコンピュータなどの ICT 機器の使
めずにいろいろな方法を考える。	用頻度。